



インタビュー
Interview

新聞作りを通じて 表現することの楽しさを学んだ 輝いている人

表現することの楽しさを学んだ

第11回おかやま新聞コンクール新聞づくりの部で山陽新聞社長賞を受賞したのが、前田晃規さん（総社東小3年）だ。小学校低学年で1543点の応募があった中から、最優秀賞に選ばれた。

受賞作品は「カメ新聞」。生き物好きな祖父の影響で、幼少の頃から昆虫や虫類などが好きだったという前田さん。一番好きな生き物であるカメの魅力を多くの人に伝えたいと思ったそう。

今回が、前田さんにとって初めての新聞作り。心掛けた点を尋ねると、「読む人が見やすいように、記事の大きさや場所、どんな色を使うのが良いかを考えた。他の人の作品をいっぱい見て勉強しました」と教えてくれた。また、カメに興味をもってもらえるよう、同

級生へのアンケート結果やクイズ、カメを種類ごとに分類した図、イラストを掲載するなど工夫した。

一番印象に残ったのは、玉野海洋博物館の館長にインタビューしたこと。「本でカメのことをいっぱい調べたら、聞きたいことが多くなりすぎて、質問を少なくするのが大変だった」という。館内のカメと一緒に見ながら、図鑑だけでは分からない方などを詳しく説明してくれたそうだ。

「自分で調べてまとめることは難しかったが、面白かった」と話してくれた前田さん。来年度も、受賞を目指してコンクールに応募したいそうだ。新聞作りにとどまらず、さまざまな経験を積んで、好きなことを表現する力を磨いていきたい。

前田 晃規さん（長良）

カメラ フォトニュース まちの話題



カーリング室内版のカローリング



目標球とボールの距離の近さを競うポッチャ

誰でもできるスポーツで交流

障がい者ワクワクすぼれく大会を開催

市スポーツセンターで3月12日、ニュースポーツを通じた交流を目的に、障がい者ワクワクすぼれく大会を開催。障がいのある人など約30人が参加しました。参加者は3組に分かれて、カローリングとポッチャ、卓球パレーの3種類の競技を順番に体験。チームメイトと協力しながら、プレーを楽しんでいました。



車いすの人でもできる卓球パレー

●ミニフォト

横田さんおめでとう



家族に祝福される横田さん

3月11日、横田近容さん（中原）が満100歳の誕生日を迎えられ、市から記念品が贈呈されました。日頃から間違い探しのクイズや体操をして過ごしているという横田さん。長寿の秘訣は、規則正しい生活をするのだそうです。

金メダリストからプレゼント



表彰台を眺めて感動する児童ら

3月9日、東京2020オリンピック女子ソフトボール金メダリストの原田のどか選手から、母校の総社北小学校に、大会で使用された表彰台の一部が贈られました。台を目の前にした児童は、夢の舞台に思いを馳せていました。

優良農業者を表彰（守谷基金）



表彰状を手にする秋山さん

2月25日、市役所で優良農業者の表彰式が行われ、イチゴ栽培を行う秋山誠さん（久代）が表彰されました。県ブランドイチゴ研究会の副会長を務め、県産イチゴの普及などに貢献した功績が評価されたものです。

総社で働きたい思いをつなぐ



熱心に話を聞く参加者

サンワーク総社で3月4日、市内での就職を希望する学生などを対象に、28社参加の合同企業説明会が開催されました。参加者は、個々のブースで企業の説明を聞き、業務内容などを確認していました。

流麗な書に感嘆



作品を鑑賞する来場者

2月23日から3月6日まで市民ギャラリーで、故高木聖鶴さん・故長谷川鶴山さん・高木聖雨さんの作品を展示する「総社ゆかりの書家三人展」が開催されました。来場者は、三者三様の書の魅力に引き込まれていました。

春を感じるおひな様



自分で作ったおひな様を飾る園児

まちかど郷土館で2月11日から4月3日まで、寄贈されたひな人形を展示しています。来館者は、時代ごとに顔立ちが異なる人形に見入っていました。総社幼稚園の5歳児46人が手作りしたひな人形も、3月2日まで並びました。